



図-13 ブナ林の林床(磐梯吾妻スカイライン湖見峠付近)

林の中には多くの種類の植物がみられるが、ただでたらめに集まっているのではなく、林内の環境に適したものが集まって階層構造を示しています。森林の階層は大別すると高木層・亜高木層・低木層・草本層・コケ層に分けられますが、森林によっては、このうちいくつかのみられないこともあります。

林内に入って、各階層別に特に多く、目立つ植物の種類(優占種)をあげてみよう。また、各階層別に、水平的にみて、樹木や草が全体でどのくらいの面積を占めているか、図-12のようにスケッチしたり、表にまとめてみよう。

ブナ林の種組成 吾妻山 海拔 1,450 m ※数字・記号は被度です。

高木層：ブナ 5.0, ナナカマド 0.6, ハウチワカエデ 0.2

亜高木層：ハウチワカエデ 2.6, ムシカリ 1.0, ブナ 0.8, コシアブラ・クロモジ・タムシバ・ヤマウルシ以上 0.2

低木層：チシマザサ 5.0, ムシカリ 1.2, ハウチワカエデ 0.8, クロモジ 0.4, タムシバ・アオモリトドマツ・ミズキ・ヒメモチ・ブナ以上 0.2

草本層：ムシカリ 1.8, ヒメモチ 0.8, スギラン 0.6, マイヅルソウ・タケシマラン以上 0.2, ツクバネソウ・ブナ・クロモジ・シノブカグマ・ギンリョウソウ・ユキザサ・ウワミズザクラ・テツカエデ・イヌツゲ以上 1.0